

中津市議会議員 大塚 正俊

まちづくり 通 信

発行：大塚まさとし後援会 中津市新大塚町 384 TEL・Fax 0979-22-6972
 携帯 090-2508-7959 E-mail masatoshi@m-ohtsuka.com
 URL（ホームページ） <http://www.m-ohtsuka.com/>



“実るほど頭(こうべ)を垂れる稲穂かな”

実りの秋、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、…。
 皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

今、家の周りの田んぼの稲穂が色づき、垂れてきました。種まきの頃、皆さまのご支援により当選させていただき、早いもので約 5 カ月が過ぎました。初心を忘れず、志を高く中津のために頑張ります。

今回は、9 月議会の内容を中心に、報告させていただきます。

9 月定例市議会で決ったことは、以下のとおりですが、会派から提出した「宇佐支援学校中津校（分校）を中津支援学校（本校）へ格上げを求める意見書」、「上関原子力発電所建設計画の一時凍結を求める意見書」「地方財政の充実・強化を求める意見書」が採択され、中津市議会から関係機関へ送付されました。

今回、共産党から提出された「競馬場跡地に建設する野球場は中止を求める請願書」については、熟慮の結果、「総合運動公園は、野球場だけでなく災害時の防災拠点、グランドゴルフ場等の機能を有していること。また、競馬場廃止に伴う 13.5 億円の負の遺産を合併特例債の発行期限の平成 26 年度末までに 6.2 億円で清算するものでもあり、残された 3 年半の間に、競馬場跡地を処分しなければ、13.5 億円の負債を将来に積み残すこととなる。」との立場で反対討論を行い、否決しました。



■ 9 月定例市議会で決まったこと。

・ 議第 89 号 一般会計補正予算

当初予算額	6 月補正後予算額	今回補正額	合計（補正後予算額）
394 億 1 千万円	396 億 2 千万円	7 億 7 千万円	403 億 9 千万円

※補正予算の主な事業

- ・ 鶴居小・大幡小・下郷小学校校舎の耐震補強実施設計委託
- ・ 三光・本耶馬溪支所の非常用発電設備工事と市役所庁舎の外壁改修工事
- ・ 津波等避難誘導看板設置や海拔表示板作成、防災資機材倉庫設置工事及備品購入
- ・ 旧下毛の空き家情報の収集、データベース化
- ・ 市役所、教育福祉センター、三光福祉保健センターの授乳室整備事業 など

9 月定例市議会の一般質問の概要 8 月 24 日～9 月 16 日

一般質問では、以下の項目について執行部の考えを質しました。

1. 中津市史について

①新中津市史の編纂（へんさん）について

《質問》 中津市史（郷土史）は、S40 年に市制 30 周年記念として発刊され、46 年が経過しております。三光村誌は S63 年に発刊され、本耶馬溪町史は S62 年、耶馬溪町史は S50 年、山国町誌は H17 年に発刊されています。平成 17 年 3 月、1 市 3 町 1 村が合併して新中津市が誕生しましたが、新市のエリアを網羅する市史は、昭和 2 年に発刊された下毛郡誌しかありません。

新中津市史は、市民一人ひとりが郷土の歴史と文化を共有し、個性的で魅力あるまちづくりを進めるために、必要不可欠なものと考えています。

中津市は、4 年後の平成 27 年には合併 10 周年、8 年後の平成 31 年には市制 90 周年を迎えますので、早急に新中津市史の編纂に着手すべきと考えますが、如何ですか。

【執行答弁】

市史の発刊は、市制何十周年といった区切りの年に発刊をすることが多く、また、市史の発刊については専門の部署を設け、学識経験者、市民、NPO 団体など広く参画していただき資料収集する体制を作り、7～10 年といった発刊計画を立てて進めています。

市としても、新中津市史発刊に向けて取り組んでいきたいと考えております。



2. 城下町の旧町名の復活について

①旧町名復活運動を通じた地域コミュニティの再生について

《質問》 城下町の風情をもったまちづくりを進めている南部校区、北部校区の一部には中津市 1 番地から 2648 番地という住居表示がなされ、62 の通称名が使われています。通称名は、1607 年中津藩主細川忠興公が城下の整備を行うために出した「町割り令」によって生まれたと言われています。

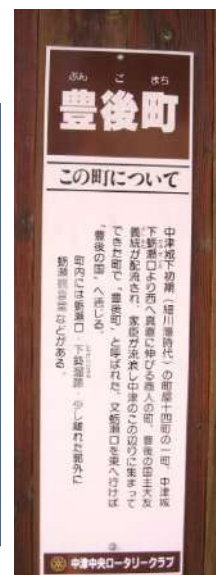
旧町名復活運動の目的は、単に昔の町名に戻すことではなく、支え合うところ、連帯のところによる未来に向けたまちづくりと位置づけています。

そこで、新貝市長の城下町の風情をもったまちづくりの集大成として、城下町の旧町名復活運動を推進し、城下町の旧町名を復活することについて、市の考え方をお聞きします。

【執行部答弁】

地域主体の旧町名復活運動により、町名の持つ意義や歴史を学び知ることによって、郷土への誇りと愛着を新たなものとし、さらにこれらを地域における相互の交流と自らのまちづくりに活かすことにより、良好な地域社会の構築などに繋がることも考えられます。

実施にあたって、地区の皆様の合意が前提となりますので、まずは地域住民の意向を確認したいと考えています。具体的な確認方法等については、今後内部で協議します。



3. 道路整備と街路樹の管理について

①都市計画道路の整備について

《質問》 中津市は、36 路線の都市計画道路を都市計画決定しています。都市計画道路の内、幹線道路の改良率は、平成 21 年度末現在 36.7%と低い状況にあります。

県マスタープランでは、平成 32 年までに整備、事業化する路線は、東九州自動車道、中津日田道路、県道中津高田線、中津港定留線、中津駅角木線、中殿大塚線、県道万田四日市線、中津港上ノ原線、宮永角木線となっています。道路整備の優先順位は、都市機能の拡散を防ぐためにも、中津全体のバランスを考えて決定されるべきと考えます。そこで、東浜相原線、県道中津高田線の福岡県側との接続、丸山町公園池線の整備が優先されるべきと考えますが如何ですか。



【執行答弁】

東浜相原線は、市民病院前の道路に振替える変更を考えています。整備時期は、都市計画の変更後、財政状況を勘案し、なるべく早期に着手したいと考えています。

県道中津高田線の福岡県側との接続につきましては、未だ具体的な計画は大分県及び福岡県から聞いておりません。

丸山町公園池線は、県道外馬場鎗矢堂線から中津城公園間を今年度から平成 26 年度に整備予定です。また、新魚町から南側は部分的な改良事業等の計画を予定しています。



②道路整備プログラムの作成について

《質問》 目標のない道路整備計画では、いつまでも骨格をなす道路の整備はできません。先進都市では、今後整備すべき道路を対象に、安全・安心、地域の活性化、快適性・ゆとりなど、各道路が果たす役割から十分な事業効果が得られる路線を抽出し、概ね 10 年間の整備時期等をまとめた都市計画道路整備プログラムを策定していますが、中津市においても、重点的に整備すべき路線を抽出する都市計画道路整備プログラムを策定すべきと考えますが、如何ですか。

【執行部答弁】

都市計画道路のうち重点的に整備する路線の抽出等は、今年度から 3 カ年計画で見直す予定の都市計画マスタープランの中に示し、中期実施計画に反映させるように努めてまいります。



③街路樹の選定及び維持管理指針の作成について

《質問》 中津の街路樹は、樹種、樹形、樹高もばらばらで、通りの連続性が失われています。例えば、龍谷高校付近の街路樹には、ケヤキ、ハナミズキ、ナノミが混在しています。中殿付近の道路では、ケヤキが大きくなり、道路側に伸びた枝だけを切ったために、自然らしさがまったく失われています。

街路樹は、歩道幅員等の道路条件や沿道条件等に応じて、樹種を選定する必要があり、植樹後の 10 年、30 年後の樹形をイメージした剪定を行うなどの管理指針が必要と考えますが、指針の作成について、市の考え方をお聞きます。

【執行部答弁】

今後の街路樹の管理目標として、地域の生態系、樹木の育成状況、景観及び安全性等を考慮し適正に行いたいと考えておりますので、街路樹の選定及び維持管理指針の策定については、今後他市の状況等を調査研究し検討して参りたいと思います。

◆6 月議会一般質問での成果

- ・城北中学校の新築工事については、当初木造 2 階建て校舎を建設予定でしたが、津波対策として、鉄筋コンクリート造り 3 階建てとする実施設計を行っています。そのため工事が 1 年遅れて、平成 24 年度着工、平成 25 年度完成となりました。
- ・豊後街道と諸町地区の街並み景観整備事業（個人建物の改修）の補助金限度額が、当初の 100 万円から 300 万円（歴史的建造物）に引き上げられました。既に、市で補助金申請を受け付けています。



■活動日誌

主な活動の一部をご紹介します。

県民体育大会の議員ソフトボールに 2 番サードで出場し、初優勝しました。



月 日 曜日	活 動 内 容
7月2日 (金)	中津南高等学校同窓会総会
7月3日 (土)	男女共同参画記念シンポジウム
7月5日 (火)	会派現地調査(つくし園、もみじ園、修光園)
7月6日 (水)	会派現地調査(宇佐支援学校中津校、やま園、中津市民病院)
7月10日 (日)	新大塚町自治会役員会
7月12日 (火)	NPO法人中津まちなみ会例会
7月15日 (金)	地方自治研究大分県集会(16日まで)
7月17日 (日)	普通救命講習 I 受講(AED、人工呼吸等)
7月19日 (火)	原水爆禁止を求める要請(中津市、市議会)
7月20日 (水)	城北中野球部保護者会総会、新人議員財政勉強会
7月21日 (木)	中津祇園(諸町)24日まで
7月25日 (月)	豊後街道景観まちづくり協議会
7月30日 (土)	高知県・愛媛県視察(8/1まで)
8月2日 (火)	新人議員と議長意見交換会
8月3日 (水)	諸町景観まちづくり協議会
8月5日 (金)	自性寺前の道路整備地元説明会、障がい児夏期休暇サポート事業(さんぽ)
8月6日 (土)	大塚正俊市政報告会(新大塚町)
8月8日 (月)	まちなみ歴史探検(教員)
8月9日 (火)	8・9反核平和集会、とうろう祭り(寺町)、まちなみ歴史探検(北部小)
8月14日 (日)	新大塚町盆踊り大会
8月17日 (水)	中津市の農業を考えるシンポジウム
8月19日 (金)	市議会議員定数調査会
8月24日 (水)	9月議会開会、県立美術館施設整備方針案説明会
8月25日 (木)	中津市6次産業推進事業・講演会
8月26日 (金)	沖縄・平和を考える旅(28日まで)
8月29日 (月)	北部公民館まつり企画委員会
8月30日 (火)	中津市政対策会議
9月1日 (木)	9月議会議案質疑、議会運営委員会、決算特別委員会
9月4日 (日)	三百間クリーン作戦、城北中学校野球部親子試合・親睦会
9月5日 (月)	9月議会常任委員会(総務消防、厚生)
9月6日 (火)	9月議会常任委員会(文教経済、施設)
9月8日 (木)	9月議会議案採決、代表質問
9月9日 (金)	9月議会一般質問、新大塚広場整備計画の説明会
9月10日 (土)	県民体育大会(議員ソフト・リレー)12日まで
9月13日 (火)	9月議会一般質問
9月15日 (木)	まちなみ歴史探検(和田小)
9月16日 (金)	9月議会最終日
9月17日 (土)	近代和風建築総合調査(北部校区)
9月18日 (日)	新大塚町敬老の日の集い
9月23日 (金)	城北中学校体育大会
9月24日 (土)	諸町景観まちづくり協議会総会、中津南高同窓の集い
9月25日 (日)	新大塚町道路清掃、豊後街道景観まちづくり協議会総会
9月26日 (月)	市政報告会(蛸瀬集会所)、北部公民館祭り企画・実行委員会

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohtsuka.com/>

又は大塚正俊オフィシャルサイトで検索して下さい。

■大塚正俊プロフィール

・昭和 37 年 2 月 22 日中津市新大塚町生まれ 49 歳 北部幼稚園、北部小学校、中津中学校、中津南高を経て、日本大学理工学部を卒業。昭和 61 年中津市役所に入職。下水道課、生活環境課、都市計画課、建築課、人権啓発推進課、耕地課、まちづくり推進室に勤務し、平成 23 年 1 月市役所を退職。

・平成 23 年 4 月の中津市議会議員選挙において、1844 票を頂き 5 位で初当選。現在 1 期目。総務消防委員会、議会運営委員会、決算特別委員会、会派「新生・市民クラブ」に所属